

令和4年7月22日

【小児の原因不明の急性肝炎の入院症例の報告数】

2021年10月以降、7月21日10時までの報告状況（※1）

	累積件数	肝移植	SARS-CoV-2 PCR 検査陽性	アデノウイルス PCR 検査陽性
可能性例 （※2）	79	0	8	6（※3、4）

※1：2021年10月まで遡って症例報告を求めているので、全てが4月以降の症例でないことや既に退院した者も含まれていることに留意が必要である。疫学的関連例は0例。

※2：暫定症例定義は以下のとおりとする。2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の①、②、③のいずれかを満たすもの：

①確定例 現時点ではなし。

②可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ (AST) 又はアラニントランスアミナーゼ (ALT) が 500 IU/L を超える急性肝炎を呈した 16 歳以下の小児のうち A 型～E 型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

③疫学的関連例 ②の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A 型～E 型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

※3：アデノウイルス陽性例について、2件は、英国等で報告されているアデノウイルス 41 型ではなく、アデノウイルス 1 型及び 2 型（地方衛生研究所におけるウイルス遺伝子の部分配列解析による精密検査結果）。3件は、病院の検査で陽性、地方衛生研究所の検査で陰性となり、型は判明せず。1件は病院の検査で陽性、地方衛生研究所の検査で陽性であり、型判定不能。

※4：このほか、8件は、地方衛生研究所において検体の精密検査中。

以上